

# きょうさいだより

弓張から見る佐世保市街



## 理 念

博愛の精神  
人の和  
自己研鑽

## 目 標

- 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療をめざします。
- 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
- 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
- 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療をめざします。
- 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合う心をもって診療に努めます。

## I N D E X

●院長挨拶、中央臨床検査部(病理)に井関充及医長が就任	p.1
●感謝のメッセージ、「眼瞼けいれん」および「片側顔面けいれん」の治療について 学術講演会の報告及びご案内	p.2
●診療活動の現況	p.3
●「始動Ⅰ」の紹介、新採用医師の紹介	p.5
●佐世保共済病院看護婦養成所の思い出 佐世保共済病院創立90周年記念「ふるさとと共に、長崎県北の自然」写真コンテストの案内、編集後記	p.6
●外来診療担当表	p.7

# ごあいさつ

院長 福井 仁士



21世紀の2年目を迎えるました。日本経済が危機的状態にある中で、本年から医療面でも厳しい年になるようです。本年4月に行われる健康保険診療報酬等の改定で予定されている診療報酬の切り下げや患者さんの医療費負担増による受診率の低下などにより、今後病院運営は苦しくなることが予想されます。佐世保共済病院においても、運営の効率化と節約によりこれに対応していきたいと考えております。

本年は佐世保市制施行100周年にあたります。佐世保共済病院も開院後91年を迎えました。佐世保市とともに永く歩んだ当病院が、今後も佐世保市民の皆さんに頼りになる施設として存続していくように職員一同努力していく覚悟です。皆さんのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 中央臨床検査部（病理）に井関充及医長が就任

本年1月より臨床検査病理部門が常勤体制となり、私がその任に当たることになりました。

臨床病理部門は解剖病理学と外科病理学の二本柱より構成されています。

解剖病理学は患者さんの御遺体の剖検および病的組織を検索し、最終診断を行う業務です。剖検結果に関しては臨床医とカンファランスを行い、病態の究明に努めるとともに、得られた知見などを将来の診断や治療に活かし、患者さんの福利に還元する重要な業務の一つです。

外科病理学は体の病的な部分より採取された細胞や組織を顕微鏡などで観察・診断する業務です。診断困難な症例は電子顕微鏡および免疫組織学的、更に分子病理学的手法を用い、より正確な診断を目指します。また外科病理の一つに手術中に得られた細胞や組織を短時間で処理し、診断する業務もあります（術中迅速診断）。この業務は手術医が手術場で治療方針を決定する重要な役割を担っています。

病理診断は臨床診断と表裏一体の関係にあり、臨床医と病理医が緊密な連携を取り合うことにより更に信頼度の高い診断を得ることができます。今後、症例検討会などを活発に行い各症例の問題点を探り将来の診断・治療に活かしていきたい考えです。

当院は院外の先生方の病理部門のご利用も歓迎致します。



いせきまさちか  
井関充及

- 出身地  
高知市
- 出身高校・大学  
土佐高校、鹿児島大学医学部
- 主な歴史
  - ・S55年 長崎大学検査部病理
  - ・S60年 長崎大学原爆被災学術資料センター
  - ・H9年 長崎大学熱帯医学研究所
- 専門領域  
外科病理一般
- 所属学会
  - ・日本病理学会
  - ・日本神経病理学会
  - ・日本臨床細胞学会
  - ・United States and Canadian Academy of Pathology



「生ある限り一生懸命」

23年間の長い間、つたない私の診療を許し協力していただいた患者さん方へ先ずもって心よりお礼申し上げます。又、一緒に診療し患者さん方々を紹介下さいました先生方、私のわがままにつきあって共に働いた一般職員の方々へ心より感謝致します。一月末をもって当院を退職致しました。



## 「眼瞼けいれん」および「片側顔面けいれん」の治療について

これらの疾患はこれまで薬物治療では十分な効果は得られませんでした。片側顔面けいれんに対しては開頭法による根治的治療法がありますが、高齢者や全身麻酔が困難な方には行われません。上記2疾患に対して、神経麻痺作用を有するボツリヌス毒素の筋肉内注射法が開発され、効果を発揮しています。効果は3~4ヶ月ですが、くり返して行うことができます。この治療は低侵襲であり、昨年4月より健康保険の適応となっています。

本治療を行うには資格取得が必要で、本院では脳神経外科の濱田医師が行っています。ご相談がございましたら、脳神経外科にどうぞ。

## 学術講演会報告及びご案内

1月28日、九州大学大学院医学研究院神経病理助教授の堂浦克美先生をお招きして「ヤコブ病と狂牛病」についての学術講演会を開催しました。プリオン病の実際についてわかりやすく講演して頂き、院外からも21名の先生方が参加され、活発な質問が行われました。

今後、開催予定の学術講演会については以下の通りです。院外からの多数の出席をお待ちしております。

①平成14年4月5日(金)18:30より

『どう変わるか　がん・痛み・モルヒネ・緩和ケア』

講師　武田文和先生(埼玉県健康づくり事業団総合健診監、埼玉医科大学客員教授)

②平成14年5月27日(月)18:30より

『脳病変の修復と脳機能形成のメカニズムに思う』

講師　生田房弘先生(新潟大学名誉教授、現新潟脳外科病院ブレインリサーチセンター所長)



現在、私どもが行っている診療活動についてご紹介致します。篤永先生の退職と松永副院長の外科顧問就任に伴ない、本年4月からスタッフが若返ることになりました。8名の外科医師で午前中は外来診療および病棟回診を行い、内視鏡や腹部超音波検査、また乳癌検査を行っています。手術は長時間手術の場合は午前中より開始しますが、定例の手術は原則的には月曜日から金曜日までの午後を行っています。その他、気胸や急性腹症としての虫垂炎・消化管穿孔・イレウスなどに対しては麻酔科と手術室の協力を得て早期の対応を行っています。

悪性疾患としては胃癌・大腸癌・乳癌・肺癌・肝癌・胆道癌(胆管・胆嚢)・膵癌などを取り扱っていますが、治療法の選択として、まず手術を施行し、術後は患者さんの状態をみて全身化学療法を患者さんおよび家族の方に十分に説明した上で行うようにしています。症例により最初に化学療法を行い、down stageが得られたならば手術を施行することもあります。去年の手術症例を表に示します。

良性疾患としては急性虫垂炎・鼠径ヘルニア・腹壁瘢痕ヘルニア・胆石症などが主な対象になっています。胆石症に対しては腹腔鏡下手術を行いますが、総胆管結石も術前の3D-DIC CTにより胆嚢・胆囊管・総胆管の解剖を確認した上で、鏡視下手術を行っています。良性疾患に対してはより低侵襲の手術を心掛けています。以下に代表的な疾患についての基本的な治療方針をお示します。

〈胃癌〉 早期胃癌は粘膜内癌であれば内視鏡的粘膜切除術を行います。患者さんの状態によっては、病巣の深達度や広がりを検討した上で局所切除を行っていますが、進行癌に対しては積極的にリンパ節廓清を伴う根治術をめざします。また術後の化学療法も予定します。

〈大腸癌〉 早期であれば鏡視下手術も今後取り入れますが、基本的には開腹し病巣の完全切除、リンパ節廓清の根治術です。

〈乳癌〉 近年はほとんどの症例で胸筋温存乳房切除術が主流で、リンパ節転移の有無により全身化学療法を施行します。また可能であれば乳房温存による根治的切除を実施しています。

〈呼吸器外科領域〉 良性疾患(気胸・肺腫瘍)、悪性疾患(肺癌・転移性肺癌)が手術対象です。原則的には、胸腔鏡下手術ができるだけ実施するようにしています。また当院では手掌多汗症に対し、2泊3日の入院で両側交感神経切除を胸腔鏡にて行っています。

平成12年外科症例数(672例)

大腸癌	72例
胃癌	54例
肺癌	27例
乳癌	25例
肝癌	23例
膵癌	6例
胆管癌	4例
胆囊癌	2例
十二指腸乳頭部癌	1例
鼠径、大腿ヘルニア	95例
虫垂炎	81例
胆囊結石症	74例
静脈瘤	26例
痔核	21例
気胸、肺気腫	15例
腹壁瘢痕ヘルニア	14例
総胆管結石	8例
イレウス	8例
消化管穿孔	8例
乳腺腫瘍(良性)	8例
大動脈瘤	5例
ASO	4例
臍ヘルニア	3例
その他	83例

〈胆道癌〉 胆囊癌や胆管癌に対しては、病巣の進展度を術前に把握して、肝切・胆管切除・脾頭十二指腸切除術などを行うことを基本としており、また必要に応じて化学療法も行っています。

〈肝癌〉 小さいものではアルコール注入療法、マイクロ波凝固壊死療法などで対処しますが、大きいものでは肝機能や全身状態が許せば切除術を基本に考えています。その際には、ヒアルロン酸、アシアロ肝シンチ、ICG、PT、HPTなどの検査データを参考にして全身状態の把握を行った上で治療方針を決定します。

〈脾癌〉 切除可能な脾癌はいまだに少ないのですが、切除術が現時点では唯一の長期生存が得られる治療法です。しかし最近、抗癌剤Gemzarの使用が保険で認められるようになったこともあり、今後は手術と化学療法を組み合わせた治療法を考えねばなりません。

〈血管外科〉 下肢静脈瘤に対して硬化療法、高位結紮術を主に行っています。閉塞性動脈硬化症に対してはバイパス術を行いますが、可能であれば血管内治療も行っています。腹部動脈瘤に対しては人工血管置換術が原則ですが、高齢者が多いため、今後はステントグラフトによる低侵襲治療も行っていきたいと考えています。

以上、各疾患に対する治療方針を述べましたが、患者さんそれぞれに対して、病態に応じた治療の選択が必要となります。

悪性腫瘍に対する治療の原則は手術ですが、今後は手術+全身もしくは局所の化学療法の確立が必要と考えられますので、内科・放射線科の協力を得てカンファレンスの充実をはかり、治療成績の向上に向け努力しようと思っています。

これらの疾患は、院外の先生方からのご紹介がほとんどですので、手術やその後の状況に関しては、できる限り早期にご報告致すように心掛けています。今後とも共済病院外科は松永副院長をはじめ、先任の諸先生方が築かれた伝統をさらに飛躍させるべく頑張る所存です。

#### 診療案内

##### ●外来診察日

月曜～金曜まで毎日（担当医は裏面参照）  
血管外科と呼吸器外科は月・水曜の午前

##### ●上部内視鏡検査

月・金曜、予約制

##### ●乳癌検診

随時行います。  
詳細は外科外来へお尋ね下さい。



腹腔鏡下手術中の外科スタッフ



胎 動 I



森 達 郎 先 生

「略歴」

1935年佐賀県伊万里市生まれ  
佐賀大学卒業後、武蔵野美大に学ぶ  
デッサンを麻生三郎教授に師事  
佐世保美術振興会常任理事

4階病棟デイルーム(産婦人科・小児科)に、佐世保市在住の画家 森達郎先生の大作「胎動 I」が掲げられています。この絵は以下の各賞を授与された名作で、森先生の御好意により展示が実現したものです。御来院の折りには是非御鑑賞下さい。

- \* 21世紀芸術家特別賞(東京)
- \* 日本選抜展ミケランジェロ大賞(イタリア)
- \* アーティストオブザイヤー2001(東京)

## 新採用医師の紹介



[小児科]

大坪善数



[内 科]

野口誠司



[外 科]

川畠方博

- 出身大学／長崎大学
- 在籍医局／長崎大学
- 卒業年度／H9年
- 専門領域／小児循環器疾患

- 出身大学／久留米大学
- 在籍医局／久留米大学
- 卒業年度／S60年
- 専門領域／肝疾患・消化器疾患

- 出身大学／久留米大学
- 在籍医局／久留米大学
- 卒業年度／H5年
- 専門領域／消化器疾患

# 佐世保共済病院看護婦養成所の思い出

元看護部長 諸 石 ヤスエ (第22回卒業生)

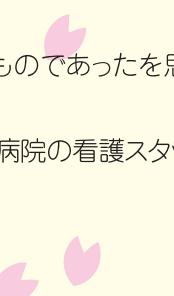
佐世保共済病院にかつて看護学校があったことを知る人が年々少なくなってきているようで、寂しく思っています。学校がなくなったことは取り戻すことのできない歴史の流れではあります、せめてその足跡を知って頂きたいと思い、ペンをとりました。

佐世保海軍工廠共済会病院が発足した明治44年に早くも日本赤十字社救護員養成所委託として看護学校が設立され第1回生16名が採用されています。その後何回かの改称がありました、昭和34年の休校、市立看護専修学校への移行に至るまでの52年間にわたって1,120余名を輩出しました。卒業生は当院の中心スタッフとなったことはもちろん、海外を含めた各地で活躍してきました。

教育期間は2年間、実務期間2年間と定められ、医学の講義には共済病院の医師が当っていました。教育内容は、医学・看護学の専門課目以外に、礼儀作法、お茶、お花、絵画、音楽、体育などが含まれ、女性として、人間として立派に育てる為の厳しい指導方針で、難関の学校として知られていました。

休校は財源不足が主な原因であったのですが、その為に当院が被った痛手がどんなに大きなものであったと思うにつけても、本当に残念なことでした。

卒業生の中には今も現役で活躍している方々がおられて頼もしい限りですが、すべての佐世保共済病院の看護スタッフの皆さんに、私達の伝統を受け継いで、誇り高いお仕事を続けて頂きたいと願っております。



佐世保共済病院創立90周年記念  
「ふるさとと共に、長崎県北の自然」

## 写真コンテスト

応募〆切

平成14年3月25日(月)

発 表

平成14年5月10日(金)(予定)

問合せ先

佐世保共済病院  
創立90周年記念事業事務局(庶務課内)

当院は明治44年1月に開院して、長い歴史を有していますが、この度記念事業として写真コンテストを実施することになりました。長崎県北の恵まれた自然をテーマに、そこに織される四季、息づく動植物、またはふるさとを感じさせる風景などを写真で募集します。見ているだけで心を癒され、ほっとなごませてくれる写真展を開催することで、多くの方々に憩いの時間を提供していきたいと考えています。

なお、写真コンテストの詳細については、ポスター、ホームページ等を御覧下さい。

## 編集後記

仕事柄、出張が多い私は色々な土地の風景を目にします。いつもと違った風景はとても新鮮で疲れを癒してくれるものです。しかし、住めば都、やはり一番心が和むのは地元佐世保の風景です。普段見慣れている風景も、その時々でまた違った風景に気付くことがあります。

今春、当院では写真コンテストを開催します。この機会に“ふるさと”を見つめなおされてはいかがですか？皆様のご応募をお待ちしております。

編集委員 森 博紀



佐世保共済病院

# 外来診療担当表

平成14年4月1日現在  
(平成14年3月13日確定分)

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後									
内科	部長	金 谷 庄 藏			●		●				●		循環器疾患
	医長	福 山 邦 昭	●				●		●				肝臓、胆嚢、脾臓疾患
	"	佐 藤 浩 信			●		●				●		消化器疾患、膠原病
	"	川 崎 千 之	●		●				●				血液疾患
	"	野 口 誠 司			●				●		●		肝臓、胆嚢、脾臓疾患、消化器疾患
	"	松 見 里 美	●				●				●		一般内科、消化器疾患
	"	車 忠 雄	●				●				●		循環器疾患
	医員	日 高 孝 子			●		●		●				呼吸器疾患
	"	石 橋 貞 利	●		●				●				消化器疾患
	"	大 塚 容 子	●						●		●		腎臓疾患
	"	久 間 文 明			●		●		●				循環器疾患
	"	末 廣 尚 久	●		●						●		循環器疾患
	"	雨 森 貞 浩			●						●		消化器疾患
	"	山 本 麻 太 郎	●						●				内科一般
	糖尿病教室				●		●		●		●		※詳細は内科外来へお尋ね下さい。
小児科	医長	岡 尚 記	●		●						●		小児科一般
	医員	古 賀 英 子	●				●		●				小児アレルギー疾患
	"	大 坪 善 数			●				●				気管支喘息
	"	原 美智子					●				●		
	乳児健診					●							PM1:00~
	慢性外来							●					水曜PM2:00~
	神経外来								●				水曜PM2:00~
	喘息外来									●			PM2:00~
外科	外科顧問	松 永 章							●				一般外科、消化器外科、血管外科
	部長	江 里 口 直 文	●				●				●		呼吸器外科、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術
	医長	田 山 光 介	●				●						内視鏡下外科手術
	医員	田 中 厚 寿	●				●						※血管外科と呼吸器外科は月曜と水曜の午前
	"	二 又 泰 彦			●				●				※月曜～金曜の午後は手術
	"	川 畑 万 博			●						●		
	"	原 田 洋 洋			●						●		
	"	吉 田 純							●				※詳細は外科外来へお尋ね下さい。
脳神経外 科	院長	福 井 仁 士	●				●						脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科
	部長	山 川 勇 造							●		●		小児の神経外科、顔面痙攣
	医員	濱 田 康 宏	●						●				三叉神経痛の外科手術
整形外科	部長	萩 原 博 翳	●				●				●		骨、関節疾患全般 特に股・膝・肩関節を
	医長	中 家 一 寿	●			●					●		専門としています。(人工関節手術、関節形成術
	医員	小 澤 慶 一				●			●		●		関節鏡視下手術など)その他、脊椎外科、手の
	"	芳 田 辰 也	●		●						●		外科、スポーツ整形外科、骨折治療など。
	"	斎 田 義 和			●		●		●				(リハビリ部門では、当院開発の流水リハビリ)
	"	山 口 洋	●		●		●				●		装置・フローミルを使用しています。
形成外科	医員	芳 田 辰 也	●		●						●		
皮膚科	医長	井 上 卓 也	●	●	●		●		●	●	●		※火・水・金午後は手術(陷入爪等)
	医員	米 村 真 由	●	●	●		●		●	●	●		※水曜の午後は入院患者の手術のみ
													※午後の診察はPM2:00~
泌尿器科	部長	山 田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患
	医長	森 光 浩	●						●		●		体外衝撃波結石破碎術(ESWL)
	医員	鳥 山 浩 二			●				●				尿失禁
	"	大 仁 田 亨			●		●						※火曜の診療は外来までお尋ね下さい。
産婦人科	部長	木 寺 義 郎	●				●				●		産科・周産期医療
	医長	鶴 地 伸 宏			●		●		●				不妊症・内分泌疾患
	医員	大 塚 未 砂 子	●		●				●		●		体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術
	"	土 井 良 順 子			●		●		●		●		更年期外来・婦人科疾患
眼科	医長	小 沢 昌 彦	●		●		●		●	●	●		白内障手術・眼内レンズ挿入術、緑内障手術
	医員	園 田 恭 志	●		●		●		●	●	●		網膜剥離手術、翼状片手術
													眼瞼手術、レーザー光凝固術など
耳鼻咽喉科	医長	後 藤 弘 穀	●		●		●		●	●	●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療
	医員	林 田 精 一 郎	●	●	●		●		●	●	●		小児の耳鼻咽喉科疾患
放射線科	医長	大 熊 一 彰	●						●				耳・鼻・咽喉頭・甲状腺などの手術
	医員	富 田 直 史				●		●					MRI、CT、RI、血管造影、超音波
	"	吾 妻 佐 奈 江											検査、消化管造影、内視鏡検査
	"	大 磯 陽 子											内視鏡下手術(ポリープ切除)
麻酔科	医長	深 野 拓	●		●		●		●	●	●		※月～金午前ペイン外来
	医員	島 本 博 子	●		●		●		●	●	●		※月～金午後は手術麻酔
	"	稻 沢 昭 子											
歯 科	医長	七 種 敏 行	●	●	●	●	●	●	●	●	●		歯科一般 ※診療は要予約
神経内科	医員	山 崎 貴 男									●		神経内科疾患一般